

用語解説

【アルファベット】

A C L S

Advanced Cardiovascular Life Support の略称。一般的に二次救命処置とも呼ばれる。気道確保・人工呼吸・心臓マッサージと共に気管挿管等の確実な気道確保と高濃度酸素投与、電氣的除細動、静脈確保と薬物投与を主体とした手技によりなされる高度な処置。

A D L（日常生活動作）

Activities of Daily Living の略。食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常の生活を送るために必要な動作。

A E D

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator の略）。心筋梗塞などにより生命の危険がある不整脈が起こった場合に、除細動が必要かどうかを自動的に判断し、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器。医療従事者でなくても使用でき、救命効果が優れている。

C C U

Coronary Care Unit の略。狭心症や心筋梗塞などの主に冠動脈疾患の重篤な患者を対象とする集中治療施設。

H b A 1 c

Hemoglobin A1c の略。ヘモグロビンのひとつ。平均血糖値を反映するため、糖尿病管理の指標として用いられる。

I C U

集中治療室(Intensive Care Unit の略)。重篤な患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を実施する施設。

S C U

Stroke Care Unit の略。脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）の急性期に対する治療を行う脳卒中専門の集中治療室。脳卒中の専門知識を持つ経験豊富な医師、看護師、リハビリテーションスタッフらの専門チームにより、脳卒中を発症早期から24時間体制で集中的に治療する病床。

t - P A

(tissue Plasminogen Activator の略)。適応のある脳梗塞症例に対し、発症後4.5時間以内に静脈内投与することにより、脳梗塞を改善させる血栓溶解薬で、近年、脳梗塞の標準的な治療法となりつつある。

【あ行】

アドバンス・ケア・プランニング（A C P）

意思決定能力低下に備えての対応プロセスのこと。（今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと。）

一次脳卒中センター

(Primary Stroke Center : P S C)

地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療（rt-PA 静注療法を含む）を開始できる施設（日本脳卒中学会認定）である。

医療ソーシャルワーカー（M S W）

Medical Social Worker の略。保健医療分野におけるソーシャルワーカーであり、主に病院において患者や家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職。

栄養士

都道府県知事の免許を受けて、栄養の指導に従事する者。

嚥下

食物を飲み下すこと。

【か行】

介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う者。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理等を行う。

回復期リハビリテーション

脳卒中などの急性期が過ぎ比較的安定した時期に入り、家庭復帰及び社会復帰を目的とした日常生活動作（ADL）の向上を集中的に行うリハビリテーション。

かかりつけ医

住民が身近な地域で日常的な医療を受けたり、あるいは健康の相談等ができる医師。かかりつけ医には、患者の病状に応じて適切な医療機関を紹介することをはじめ、常に患者を支える立場に立って重要な役割を担い、また、診療時間外においても患者の病態に応じて患者又はその家族と連絡がとれるようにするなど適切に対応することが期待されている。

合併症

ある病気に関連して起こる、他の病気。

緩和ケア

患者・家族の療養生活の質の向上のため、がん患者の身体的苦痛（疼痛）及び精神的苦痛（恐怖、不安）、社会的な不安（仕事や経済面での不安）を和らげる医療。

緩和ケアチーム

患者に緩和医療を提供するため、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、心理療法士等から構成されるチームのこと。がん診療連携拠点病院には設置が義務付けられている。

救急医療機関

救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定した医療機関。

救急救命士

厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業とする者。

ケアハウス

身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があると認められる者であって、家族による援助を受けることが困難なものを低額な料金で利用させる施設。

ケアプラン

介護保険制度で要支援・要介護認定を受けた場合、本人の希望や必要性に応じて利用限度額・回数のなかでどのようなサービスを組み合わせて受けるかの計画。

ケアマネジャー（介護支援専門員）

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う者。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理

等を行う。

健康寿命

国民生活基礎調査に基づき日常生活に制限のない期間（アンケート調査）から平均を算出したもの。

言語聴覚士（ST）

Speech Therapist の略。医師の指示の下に言語、聴覚、発声、発音及び認知等のコミュニケーション及び摂食、嚥下に障害のある人に対して、機能の維持と向上のための訓練、検査や助言、指導などの援助を行うことを業とする者（国家資格）。

口腔ケア

狭義には、口腔衛生の改善のためのケア（口腔清掃）を指すが、最近では、広義として摂食・咀嚼・嚥下訓練まで含まれている。現在多くが使用している定義では、「口腔清掃、歯石の除去、義歯の調整・修理・手入れ、簡単な治療などにより口腔の疾病予防・機能回復、健康の保持増進、さらにQOL（生活の質。Quality of Lifeの略。）の向上を目指した技術」を「口腔ケア」という。

高次脳機能障がい

交通事故や病気等により脳に損傷を受け、その後遺症として記憶、注意、遂行機能、社会的行動といった認知機能（高次脳機能）が低下した状態。

コメディカル

医療従事者のうち医師や歯科医師以外の者。

【さ行】

在宅療養支援歯科診療所

在宅又は社会福祉施設等における療養を歯科医療面から支援する歯科診療所。

在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

往診や訪問看護が24時間可能な体制を確保している病院又は診療所のこと。主に在宅での慢性疾患の療養等を行う。在宅療養患者の緊急入院を受け入れる体制も確保している。

作業療法士（OT）

Occupational Therapist の略。医師の指示の下に身体や精神に障害のある人に、工作や手芸などの作業を行わせ、心身の諸機能の回復を行うことを業とする者（国家資

格)。

受療率

調査日(1日)に医療機関で受療した患者数を人口で除した10万人当たりの率。

除細動

心臓に強い電流を瞬間的に流して、心房細動や心室細動を抑え、心拍を規則正しいリズムに戻すこと。

人工透析

慢性腎不全等で腎機能が回復できなくなった時に、医療機器で人工的に腎臓の機能を施す療法。

心肺蘇生

病气やけがなどで突然、呼吸停止、心肺停止の状態に陥ったとき救命させるため行われる応急手当。

診療放射線技師

医師・歯科医師の指示の下に、エックス線撮影や放射線照射することを業とする者(国家資格)。

咀嚼

摂取した食物を歯で咬み、粉碎すること。

【た行】

退院前カンファレンス

退院にあたって患者・家族・医療スタッフなどが集まって行う話し合い。

地域医療介護総合確保基金

都道府県が計画した、医療及び介護の総合的な確保に関する目標を達成するために必要な事業(病床の機能の分化及び連携、在宅医療・介護の推進等)に要する経費を支弁するため、消費税増収分を財源として都道府県が設置している基金のこと。

地域医療構想

高度急性期から、急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、また過不足なく提供される体制を確保するための取組などをまとめた構想(鳥取県は平成28年12月に策定)。病床機能ごとの2025年の医療需要及び病床の必要量(推計値)も記載。

地域医療構想調整会議

都道府県が構想区域ごとに設ける、診療に関する学識経験者の団体その他の医療関係者、医療保険者その他の関係者との「協議の場」の名称。地域医療構想の推進の方策等について協議する。本県の場合、各構想区域に設置されている「地域保健医療協議会」を調整会議に充てている。

係者、医療保険者その他の関係者との「協議の場」の名称。地域医療構想の推進の方策等について協議する。本県の場合、各構想区域に設置されている「地域保健医療協議会」を調整会議に充てている。

地域包括ケアシステム

地域の実情に応じて、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいいます。

地域包括ケア病床(病床)

急性期治療を経過した患者及び在宅において療養している患者等の受入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病床(病床)。

地域包括支援センター

包括的支援事業を一体的に実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする拠点施設。

地域連携クリティカルパス

地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画。

データヘルス

医療保険者が加入者の健康データを活用し、データ分析に基づき、個人の状況に応じた保健指導や効果的な予防・健康づくりを行うもの。

てんかん

突然意識を失って反応がなくなるなどのてんかん発作をくりかえし起こす病気。

特定健康診査

糖尿病その他の政令で定める生活習慣病に関する健康診査をいう。

特定保健指導

特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者として厚生労働省令で定めるものに対し、保健指導に関する専門的知識及び技術を有する者として厚生労働省令で定めるものが行う保健指導をいう。

ドクターヘリ

救急医療用の医療機器を装備したヘリコプターであり、医師および看護師が同乗して救急現場に向かい、現場から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療（航空救急）を行うことができる専用ヘリコプターをいう。

ドクターカー

人工心臓マッサージ器や人工呼吸器、検査装置の医療機械を搭載し、医師・看護師が同乗して、医療機関搬送前の現場へ直接出動する救急車の一種である。

特別養護老人ホーム

老人福祉法に基づき、身体上または精神上著しい障害があるために常時介護を必要とする高齢者を入所させて、養護する施設。

【な行】

認定看護師

一定期間以上の実務研修を修了した保健師、看護師及び助産師の免許所有者が日本看護協会認定の看護師教育機関にて6か月以上の教育を受け、認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者で、看護現場において、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

年齢調整死亡率

年齢構成の違いに影響されない比較をするため年齢構成を調整した死亡率。

脳血管内治療

脳の病気に対して、血管の中からアプローチをする手術法である。全身の血管は大動脈を介してすべて繋がっているため、足の付け根や肘の内側の血管など太い血管からカテーテルを挿入し、大動脈を通じて脳の血管まで進める。

【は行】

病院群輪番制

地域の病院が輪番制方式により休日・夜間の診療体制を整えているもの。

病診連携

患者の治療等に関して、地域の病院と診療所との間で行う医療連携のこと。

病病連携

患者の治療等に関して、病院間で行う医療連携のこと。

フレイル

加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態（厚生労働省研究班の報告より抜粋）。低栄養やロコモからくる身体的フレイル、意欲・判断力の低下などの精神的フレイル、地域などからの孤立の社会的なフレイルがある。

訪問看護ステーション

かかりつけの医師の指示の下に看護師が訪問し、住み慣れた家でお年寄りや身体の不自由な方などに、療養していただきやすいように看護サービスを提供する事業所のこと。

【ま行】

メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に高血糖・高血圧・脂質異常症のうち2つ以上を合併した状態をいう。

メディカルコントロール

救急搬送において、救急救命士が医行為を実施する場合、当該医行為を医師が指示又は指導・助言及び検証してそれらの医行為の質を保証すること。Medical Controlを略してMCとも呼ばれる。

薬物療法

薬を使う治療のこと。がんの場合は、抗がん剤、ホルモン剤、免疫賦活剤（免疫力を高める薬剤）等を使う療法のこと。抗がん剤による治療法。

【ら行】

理学療法士（PT）

Physical Therapist の略。医師の指示の下に、身体に障害のある人に、寝返り、起きあがり、歩行などの基本的な動作能力及び日常生活動作（ADL）の向上や維持のため、運動療法や温熱、光線、電気などの物理的手法を行うことを業とする者（国家資格）。

罹患率

特定の期間内に集団に新たに生じた疾病の症例数の割合。ある時点、ある地域内の全患者数をその地域の人口で割った有病率とは区別して用いられる。